月イチ 県政コラムmini

がん対策に自殺予防も

厚生労働省研究班が、がんと診断された患者約107万人を2年間追跡調査した結果、診断から2年以内に自殺するリスクは一般と比べて1.84倍に上ることが分かりました。

診断の1カ月以内が4.40倍と最も高く、2～3カ月では2.61倍、4～6カ月は2.17倍と2倍を上回り、13～24カ月後でも1.31倍と高い傾向が示されました。

特にリスクが高いのが、既にがんが進行している患者さんです。診断後、早急に対策を講じることが重要です。

神奈川県議会議員

HPへ▶

おのでら 慎一郎

しんいちろう